

令和4年度第2回習志野市学校給食運営委員会 会議録

1. 開催日時：令和5年2月3日（金） 午後3時30分から午後4時30分

2. 開催場所：市庁舎5階委員会室

3. 出席者【会長】 野村健一委員

【委員】 加藤努委員、中宇根さおり委員、大竹瑞穂委員

川島理奈委員、青木幸子委員、初芝未来委員、河邊早苗委員

三原千賀子委員、松岡林香委員、恒久夕香委員、中川瞳委員

伊佐間昭世委員 <欠席委員2名>

【事務局】 菅原学校教育部長、蓮学校教育部次長、河西学校給食センター所長
松岡学校教育部主幹、伊倉係長、谷地副主査

【傍聴人】 0名

4. 会議の概要

開会

【会議内容】

第1 会議の公開

原則公開としたうえで、内容により公開・非公開の判断が必要となった際は、その都度、議決することに決定した。

第2 会議録の作成等

要点筆記とし、会議名・開催日時・開催場所・出席者氏名・会議内容・発言委員名及び所管課名を記載のうえ、市ホームページ及び市役所グランドフロアの情報公開コーナーにおいて公表することを決定した。

第3 会議録署名委員の指名

会議録署名委員に初芝未来委員を指名し、決定した。

報告事項

(1) 令和3年度学校給食関係費決算について

(2) 令和4年度学校給食の取り組みについて

① 令和4年度学校給食の食育の取り組みについて

② 令和4年度学校給食の地産地消の取り組みについて

(3) 第3子以降の学校給食費の補助（無償化）について

その他（事務局連絡等）

閉会

5. 会議資料

・ 次第

・ 資料1 令和3年度学校給食費決算

・ 資料2 令和4年度学校給食の食育の取り組みについて

・ 資料3 令和4年度学校給食の地産地消の取り組みについて

・ 別紙資料 千産千消デー実施報告書

・ 資料4 第3子以降の学校給食費の補助（無償化）について

6. 報告事項

(1) 令和3年度学校給食関係費決算について

事務局より資料1を基に、令和3年度の学校給食関係費決算について説明。

【中宇根委員】 令和3年度決算と直接関係はないが、今年度様々な物価が高騰していることが報道等で取り上げられており、現状、幼稚園の給食で品数が減ったり質が落ちたりせず、これまで通りおいしい給食が食べられているが、給食の賄材料費について今後影響はないか。

【野村会長】 実際、現場に携わっている河邊委員、今の質問に対してどうか。

【河邊委員】 食材の選定を再度行い、予算内で収まるよう工夫している。

【野村会長】 初芝委員はいかがか。

【初芝委員】 実籾小学校も第三中学校と同様、食材の選定をした上で、献立の内容や調理方法を考えて献立作成しており、現在の給食費で運営できている。

【野村会長】 二人の委員から意見をいただいたが、私自身も第三中学校で給食を食べている。これまで通りの品数で、品数が減ったり、彩どりが悪くなったりはない。味も見

た目もおいしい給食が提供されている。現場の栄養教諭が市内全体でこれまで積み上げてきた知識、経験等を生かしながら、工夫を凝らして取り組んでいる結果だと思う。今後も、児童生徒が楽しみにしている給食の提供に向けて、取り組んでもらいたい。

【松岡主幹】 新型コロナウイルス感染症や、ウクライナ情勢等に伴う原油価格高騰等の影響による価格高騰で、現状の予算で足りなくなった場合に、国からの交付金を活用することとし、令和4年6月定例市議会において関連予算について承認をいただいている。現状、各学校において物価高騰による影響はあるが、ひっ迫した状況にはないため、交付金の活用する必要はないものと考えている。

(2) 令和4年度学校給食の食育の取り組みについて

事務局より資料2を基に、令和4年度学校給食の食育の取り組みについて説明。

(3) 令和4年度学校給食の地産地消の取り組みについて

事務局より資料3と別紙資料を基に、令和4年度学校給食の地産地消の取り組みについて説明。
給食センターが作成した「学校給食週間」の視聴覚動画を視聴。

【野村会長】 恒久委員は食育の授業をされたと聞いたが、授業での児童の様子やその後の給食の様子はどうかだったか。

【恒久委員】 資料3の3学年「にんじんのひみつ」の授業、「給食センターのひみつ」の授業を行った。「にんじんのひみつ」では、彩誉を知らない子どもたちが多かったが、実際に知って休みの日に「しょいか〜ごに行って彩誉を探してきた」「彩誉のジュースがあったよ」「近くのスーパーには彩誉がなかった」と家庭でも彩誉や千葉県産のにんじんを食べてみたいという児童が増えて良かった。「給食センターのひみつ」の学習でも、給食がどんな風に作られているかを知り、その後の給食で少しでも食べようと意識する子どもたちが増えてきた。にんじんが全く食べられなかった児童がクラスにいるが、にんじんの授業の後に「今日は一枚だけ食べてみる」、今では給食によってだが、「お味噌汁のにんじんを3枚食べてみる」など、子どもたちの食に対する意識が変わり、授業をして良かった。

【野村会長】 地産地消デーの取り組みで、第三中学校と実籾小学校の資料があったが、初芝委員、河邊委員、いかがか。

【河邊委員】 令和4年度は、6月の食育月間と千葉県民の日、11月の千葉県の食育月間、1月の学校給食週間に千産千消献立を提供した。給食だよりや給食時の放送メモで

千産千消献立について周知した。特に１月は、習志野市の歴史を振り返ることができる献立内容にし、市で作られているまたは、昔作られていた食材についても知識を深めてもらえるよう工夫した。

【初芝委員】 実籾小学校も第三中学校と同様、６月、１１月、１月でそれぞれ千産千消献立を提供した。具体的な取り組みとしては、給食だよりや献立表で千産千消献立があることを伝えたり、給食中の放送で、その日の献立の紹介や一口メモでテーマを決め、クラスに配布、周知した。内容としては、千葉県産の旬の食材を紹介することに加え、千葉県の郷土料理や習志野市にゆかりのある食べ物を紹介し、身の回りの地域のことを知る良い機会になると思い、色々と工夫している。

（４）第３子以降の学校給食費の補助（無償化）について

事務局より資料４を基に、第３子以降の学校給食費の補助（無償化）について

【松岡委員】 学校給食費第３子以降無償化については、来年度以降も実施されるのか。

【松岡主幹】 今回の学校給食費第３子以降無償化については、千葉県が市町村負担分の２分の１を補助することを表明したことを受け実施した。報道発表によると、千葉県は来年度も学校給食費第３子以降無償化に係る予算計上をしており、本市においても同様に対応を考えているが、現段階において来年度実施するかどうかについては、明確に回答できない状況。

【その他（事務局連絡等）】

今年度の会議は、本日が最後となる。本日の会議録については、完成しだい後日郵送する。